

今月の言葉 施工体制リエンジニアリング 栗崎博文 7

特集 防災

JR北海道における2025年度の主な災害	JR北海道	工藤雅史	8
JR東日本における2025年度の災害等	JR東日本	前田剛志	11
東海道新幹線における新しい降雨運転規制	JR東海	宮下優也	14
融雪期における排水設備に起因する土砂災害への対応	JR西日本	伊藤佑果・佐々木 良・森 泰樹	18
JR四国における防災の取組み	JR四国	竹井和夫	21
JR九州における自然災害への取組み	JR九州	浅里直哉	24

鉄道総研だより	ボルトの締め直しが不要な板ばね式レール締結装置の改良	JR西日本	玉川新悟・上田将司・松尾淳史・松谷真吾	27
---------	----------------------------	-------	---------------------	----

時事的記事	作業性に優れたコンクリート製踏切舗装版の開発	JR西日本	田中俊史・本野貴志／日本軌道工業(株)	高尾賢一	30
-------	------------------------	-------	---------------------	------	----

JR北海道の安全管理体制強化の取組み	JR北海道	大川原 孝	34
JR東日本における資格制度・教育に関する取組み	JR東日本	小松佳弘	37

創意工夫	マルタイによる低強度安定処理工法の確立	日本機械保線(株)	小楠貴人	40
------	---------------------	-----------	------	----

基壇となる線路がない接続軌道敷設施工の工夫	仙建工業(株)	井澤達郎	42
-----------------------	---------	------	----

私たちの施工方法、紹介します!! 東海道新幹線品川構内1線区間におけるPCマクラギ更换の施工	双葉鉄道工業(株)	出浦翔太	46
--	-----------	------	----

我が社の協力会社	我々とともに「チーム」として着実に進歩し続ける「仲間」(株)三友	広成建設(株)	松本正寛	49
----------	----------------------------------	---------	------	----

鉄道土木メンテナンス	停車場設備の建築限界管理	JR四国	東川孝治	51
------------	--------------	------	------	----

現場長奮闘記	困難は、乗り越えられる者にだけ訪れる	JR北海道	宗内大介	54
--------	--------------------	-------	------	----

わかりやすい保線技術	新幹線分岐器ポイント部の特徴と管理	JR東日本	大下敦毅	55
------------	-------------------	-------	------	----

ワンダフルな職場拜見	新貨物駅完成を目指すプロフェッショナル集団	名工建設(株)	静岡軌道部 沼津軌道作業所	57
------------	-----------------------	---------	---------------	----

いまさら聞けない保線知識	岐阜県の玄関口	JR東海	新幹線鉄道事業本部 岐阜羽島保線所	58
--------------	---------	------	-------------------	----

我が社のホープ	軸箱加速度ってなに?	JR九州	田中幸司	59
---------	------------	------	------	----

見守られる側から支える側へ	大阪市高速電気軌道(株) 保線管理事務所	60
岡山発。分岐器の鬼に、技術で立ち向かう	JR西日本 岡山保線管理室	60

こんなことがあった	落石止め柵の雪庇落とし中に作業員が墜落	第一建設工業(株)	山下寛生	61
-----------	---------------------	-----------	------	----

WTS海外線路情報局	国際事業を通じて経験したこと—海外技術交流で見えた「線路保全」の現在地—	JR西日本	溝口敦司	62
------------	--------------------------------------	-------	------	----

軌道会社だより 全国軌道業協会の取組み 全国軌道業協会 吉井時広 64

我が社の自慢 アプリやRPAを使用した業務の効率化・省力化の取組み 北海道軌道施設工業(株) 山岸正宜 65
施設のうごき 66

【表紙写真】 予讃線下宇和～立間間285k400m付近災害復旧〈JR四国 工務部 工事課 副長 竹井和夫〉

当該箇所は2025年6月に倒木処理に向かったJR四国社員が小規模な斜面崩壊を確認し、応急工事後に25km/hの徐行措置を実施した。後日、緊急点検にて岩盤崩壊の危険斜面を特定するとともに、被災箇所を含む大規模な復旧工事に着手、2026年3月に完了し、被災から約10か月間に及ぶ徐行運転を解除することができた。

【グラビア】 JR四国における近年の防災対策事例〈JR四国 工務部 工事課 主席 喜多賢治〉 2

読者アンケートを実施中です。回答された方のなかから毎月抽選で5名様にQuoカード(Emailタイプ)500円分をプレゼントいたします。どしどしご回答ください。

回答用QRコード→

